

アメリカ・オレゴン州学生訪問団が大垣北高を訪問しました

6月24日（月）の午後、アメリカのオレゴン州から高校生20名と引率の先生方が大垣北高校を訪問し、日本の高校生活を体験しました。

授業では、本校1年生の英語の授業に参加して、グループごとに自己紹介をしたり、折り紙を一緒に折ったりする等の交流活動を行いました。放課後には剣道部・かるた部・弓道部を見学し、活動の様子や日本の文化を知ってもらう機会となりました。

本校の生徒にとっても、英語を使って積極的に質問したり、アメリカの学生たちになんとかうまく説明・紹介できるように工夫したりするなど、非常に良い機会となりました。半日という短い時間でしたが、本校で多くの生徒と交流できたようです。



来てくれた留学生の方が日本語を話してくれたり、折り紙の説明をする際に英語に困ったらこういう風に言うんだよ！と教えてくれたりしたので知識を増やすことが出来たし、お互いが歩み寄ることの大切さを学びました。



折り方を説明する時の英語が難しくてなかなかうまく伝えられませんでした。でもジェスチャーとかで伝えて完成させることが出来た時はとても嬉しかったです！通じ合えた喜びは大きかったです！！



オレゴン州の生徒はとても優しく、楽しい1時間でした。全て英語で話して伝えようとするのではなく、ジェスチャーややり方を実際に見せて伝えることも、言語の壁を超えてコミュニケーションをとる上で重要だと改めて感じました。

英語がなかなか伝わらなかったのが初めは戸惑いましたが、折り紙はうまくできました。同じアニメが趣味だったので嬉しかったです。

英語で自己紹介やフリートークをして、間違っていたかもしれないけど自分の伝えたいことを知っている単語を組み合わせせて理解してもらえたのが嬉しかったです。留学生の人は日本語がとても上手だったので、自分も英語の勉強を頑張ろうと思えました。

